

芸術ユニット・明和電機も参加！金属に魅せられた現代アート作家たちの競演。

2018年8月

メタル フェティッシュ

Metal Fetish



篠田守男「TC8615 空飛ぶ工場」2017年

・会 期:2018年8月29日(水)~9月17日(月)

・会 場:日本橋高島屋6階美術画廊X

このたび日本橋高島屋美術画廊Xでは、金属に魅了され、独自の表現を展開する現代作家4人と1ユニットによる金属造形作品展「メタルフェティッシュ」を開催いたします。

きめ細かい肌のように美しく研ぎ込まれた表面、官能的な死の香り漂う腐食断面、生物の臓器の如く有機的に絡まるパーツやコード、愛らしくさえ思える神経を逆撫でするギミック。無機質な物質に宿る冷徹なエロスとタナトス。加工や経年によって時間と光を反射し吸収する金属は、私たちが太古の時代から深遠広大な宇宙の果てまで、時空を超えた夢想の世界へと誘います。

まるで未来のお伽噺の語り部たる内林武史氏、クールで艶めかしい祭器のような菅野猛氏、驚異的に微細な詩的世界を創りあげる桑原弘明

氏、金属彫刻家であり研究者、直線と曲線によるシュールな緊張感の篠田守男氏、日本の高度成長期の中小企業スタイルで、ナンセンスな「製品」を開発し続ける明和電機。強烈な個性を持った金属フェチの作家たちが、矩形のギャラリーに一堂に集います。金属アレルギーの方はくれぐれもご注意ください。



菅野猛「祈りの道具」
B5402 2017年



桑原弘明 mini Scope「きらぼし」
2018年



内林武史「月の眠る場所」2018年



明和電機「GM 魚立琴」
1998年

【出品作家】内林 武史 菅野 猛 桑原 弘明 篠田 守男 明和電機 (敬称略・50音順)

【イベント】ギャラリートーク=9月2日(日) 15時~16時

【お問合せ】日本橋高島屋 TEL(03)3211-4111 (代表)